

リーディングDXスクール事業【実践事例】

堺市立三宝小学校（大阪府）【指定校】

【取組内容】 情報活用能力チェックリストを活用し、指標をもって意識の高揚を図る。

②情報活用能力の育成

Teamsを使ってチェックリストを共有

スキル		モラル・態度	
1	ローマ字で1分間に40字程度のタイピング入力ができる。	1	パソコンをしっかりと使うことができる。
2	パスワードを覚えて、パソコンにログインできる。	2	学校から借りているパソコンを、学習以外の目的で使わないようにしている。
3	---を読み取って、リンク先を確認することができる。	3	人の写真をとる時や人の作品を使う時は、その人の許可をとっている。
4	発表ノートで、写真の大きさを変えて、必要な部分だけをトリミングして入れることができる。	4	他の人の言葉や文章や写真などを使う時、自分のものではないことがわかるようにしている。
5	発表ノートに写真や動画を挿入できる。	5	情報が残ったり広がったりする危険性があることを考えて発信できる。
6	スクリーンショット（画面保存）をすることができる。	6	身の回りの生活の中でコンピューターが使われていることを知っている。
7	ファイルをOneDriveに保存することができる。	7	IDやパスワードを見えるところにはらない。
8	PowerPointで、画像の貼り付け、拡大縮小、トリミングをしながらスライドを作成できる。	8	個人情報やIDやパスワードが大切であることを知っており、他の人に教えないようにしている。

系統的・段階的に育成を図ることで、子どもたちの情報活用能力の格差を解消

ICT活用の基本は**タイピング**

タイピングゲームでスキルを身につける3年生



1分間でタイピング40字程度をめざす



インターネットで調べ学習ができるように